交通事故の発生状況と死亡事故の特徴

～ 令和6年中～

県内の交通死亡事故47件47人（前年比＋３件±０人）

１ 交通事故発生状況（令和６年中）

区分		発生件数	死亡事故 件数	死亡事故 死者数	負傷者数 重傷	負傷者数 軽傷	負傷者数 計
本年		3,785	47	47	444	4,121	4,565
前年		4,033	44	47	463	4,469	4,932
増減	数	−248	3	0	−19	−348	−367
	率	−6.1	6.8	0.0	−4.1	−7.8	−7.4

区分		死者の状態別(人数) 四輪車	二輪車	自転車	歩行者	その他	高齢死者の状況(人数) 高齢者	高齢歩行者	高齢運転者による事故死者数
本年		15	12	6	13	1	26	9	12
前年		26	6	3	11	1	19	4	14
増減	数	−11	6	3	2	0	7	5	−2
	率	−42.3	100.0	100.0	18.2	0.0	36.8	125.0	−14.3

２ 全国及び東北の死者数（令和６年中）

区分		全国	東北	宮城県	青森県	岩手県	秋田県	山形県	福島県
本年		2,663	224	47	43	28	31	24	51
前年		2,678	248	47	45	35	32	34	55
増減	数	−15	−24	0	−2	−7	−1	−10	−4
	率	−0.6	−9.7	0.0	−4.4	−20.0	−3.1	−29.4	−7.3

【令和６年月別交通事故死者数】

３ 令和６年中の交通死亡事故等の主な特徴

(1) 交通死亡事故件数は増加、死者は同数

令和６年中の交通死亡事故は47件47人で、前年と比べて＋３件±０人でした。

また、過去５年間の死者数平均の47人と比べて±０人でした。

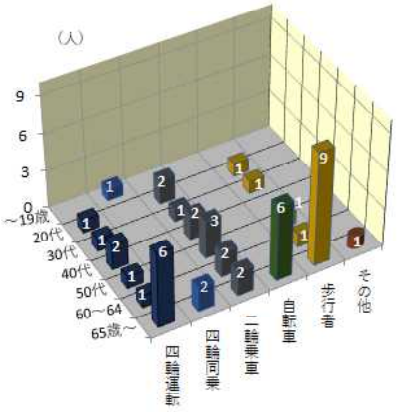
(2) 交通事故死者の約６割が高齢者

高齢者が死亡する交通事故は26件26人（前年比＋７件＋７人）と増加し、全死者数の約６割（55.3%）を占めました。

高齢者の状態別では、歩行中が９人、四輪車が８人、自転車が６人、二輪車が２人、軽車両が１人となっています。

自転車の死者６人全てが高齢者となっており、歩行中の死者についても約７割（13人中９人。69.2%）が高齢者でした。

【令和６年状態別年齢別死者数】



(3) 自車線はみ出し事故が約４割

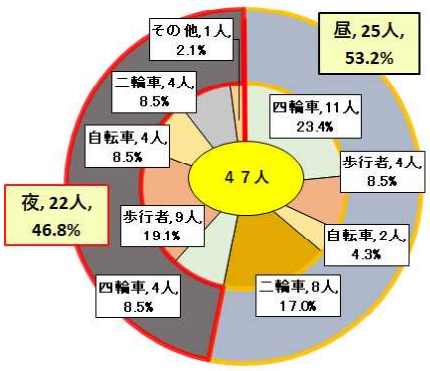
自車線はみ出し事故（正面衝突・工作物衝突・路外逸脱の合計）は、20件20人（前年比－３件－４人）で、全事故の約４割（42.6%）を占めました。

(4) 二輪車、自転車、歩行者が増加

死者の当事者別では、二輪車が12人（前年比＋６人）、自転車が６人（前年比＋３人）、歩行者が13人（前年比＋２人）と増加した一方で、四輪車は15人（前年比－11人）と減少しました。

その他、軽車両（除雪機を押し歩いていた人）が１人でした。

【令和６年昼夜別・状態別死者数】



(5) 飲酒運転による人身交通事故発生状況（一般原付以上の第１当事者）

飲酒運転による人身事故は39件（死者０人。負傷者44人）で、死亡事故の発生はなく、前年と比べて発生件数は－６件、死者数は－４人、負傷者数は－８人でした。

宮城県警察本部交通企画課